

小中学校プールのあり方検討会議の考え方

目 的：少子化や授業時数の減により稼働率が低下している学校プールのあり方について、さらに水泳授業の実施方法について、今後の対応を提言することを目的とします。

会 議：教育長が招集する。2か月に1回程度の頻度で開催。

委 員：P T A役員、小学校関係者、中学校関係者

事 務 局：学校教育課に置く。

検討内容：◆学校プールの更新・維持・廃止について
◆校外プール施設の活用について
◆水泳授業、水泳指導の考え方

検 討 後：検討会議として学校プールのあり方等についての提案を作成する。
市教育委員会はこの提案をもとにして対応方針を作成する。